

企画総務グループ打合せ（平成 21 年度 第 3 回）議事録

- ・日 時：平成 21 年 9 月 14 日(月) 15:00～17:00
- ・場 所：JGS 地階 A 会議室
- ・出席者：東畑，北本，佐藤，玉手，王，喜多，鎌田，青木(事務局)
- ・欠席者：桑野，関，大和
- ・未定者：

1. 前回議事録（7/13）の確認 【別紙 - 1】

2. 最近のスケジュール

第 3 回運営委員会：平成 21 年 9 月 29 日(火)

評議員会：平成 21 年 10 月 28 日(水)

第 6 回地盤工学会関東支部発表会（Geo-Kanto2009）：平成 21 年 11 月 12 日（木），13 日（金）

3. 支部長特命事項対応他、運営管理上の報告・協議

（1）関東支部副支部長新任 【別紙 - 2】

東畑幹事長が 9 月 4 日に関東地整横山企画部長の後任である金尾健司氏を訪問し、副支部長就任の承諾を得た。支部活動（災害協定、出前講座、研究委員会等）を紹介するとともに、支部発表会での業務関連題材発表への協力文書発送、特別会員退会防止、休眠状態の堤防研究会活動再開、関係財団等からの寄付受入れなどに関して説明し、協力を要請した。
金尾氏には次回運営委員会への報告を経て、委嘱状を発送する。

（2）第 2 回運営委員会に基づき企画総務 G 関連で検討すべき事項 【別紙 - 3】

- 1) 幹事活動に学会名刺が必要な方には申し出に応じて名刺を作成する
- 2) 会員向け行事の企画について（酒蔵めぐりなど会員サービスに類する企画）
次のような企画案に関する意見があった。

支部発表会にあわせた地域企画

（次年度以降の開催地にあわせ、その地域で可能な企画があれば検討）

発注者側の方や国会議員を招いた行政施策や政策に関する講演・意見交換会

（候補者を今後検討。馬淵衆議院議員を招いたアフター 5 談話会の実績あり）

学生会員の人生設計に資する情報提供

（学生会員と企業・官庁等の若手代表者との交流会を通して、地盤工学分野就職希望者への情報提供、人脈形成の機会を設けるとともに、学会とのつながりのメリットを伝えて学生会員から正会員への移行を促す場にもする）

引き続き、企画意見の徴収、具体化を図るものとし、 については今期 11 月頃の開催を目指し、喜多幹事に企画を依頼した。

3) Newsletter での絵画等作品の募集、掲載について

王幹事に検討を依頼し、次号から対応を予定

4) 実行可能な出前講座のリストアップ

現在 HP に掲載されている開催実績表より、現時点で開催不可能なテーマ等を削除する。

（幹事会終了後に、この作業を実施済み）

今後新規に可能なテーマについては桑野幹事を中心に検討いただき、逐次追加する。

4. 地盤工学会 60 周年記念行事開催結果

各行事の開催結果の概要について紹介した。

- (1) 絵画コンクール(テーマ「地盤(地面)」に関するもの) 【別紙 - 4】
応募総数 51 点。20 名の作品が入賞
- (2) 講演会「公共投資の意義を考える」 【別紙 - 5】
ほぼ満席で盛況のうちに終了
- (3) ソイルタワーコンテスト 【別紙 - 5】
15 チーム参加
- (4) アート泥団子 【別紙 - 5】
48 名参加。好評で継続開催の要望あり
- (5) 交流会(60 周年記念式典・祝賀会)【別紙 - 6】

- (6) 市民向け「地震防災講演会」(本部技術普及委員会との共催)【別紙 - 7】
9 月 5 日(土)に開催。約 150 名が参加。一般市民が 1/3 を占める。
本部・支部共催形式としては初開催であったが、今後他の支部でも連携行事を企画してはどうか。
今回講師を務めて頂いた先生方には谷先生名で感謝状(礼状)を出すように事務局で手配する。
- (7) 市民向け「宅地安全のカラーパンフレット作成」(研究委員会 G “造成宅地関連事例検討委員会”)
安田先生を中心に準備中

5. 開催結果, 進捗状況の報告

- (1) Newsletter の発行
No.17 8 月号発行済み
- (2) 支部ホームページの更新
ほぼ対応済み
- (3) 出前講座
上記の 3.(2) 項 4) 参照
- (4) 特別講演会“地盤技術者の英語”入門 【別紙 - 8】
9 月 25 日(金)実施予定
- (5) 工法協会交流会 【別紙 - 9】
現時点 7 者から参加の返信あり。今後開催日程を調整。
事前に申込者に聞きたい事項をヒアリングし、各協会のプレゼン内容に盛り込んでもらうことで、
質疑の活性化を図る方向で進めたい。
- (6) 技術士養成講座
関幹事が検討を進めている段階
- (7) 第 1 回評議員会での話題提供 【別紙 - 10】
 - 1) 話題提供の候補を「NEXCO 中日本」東名高速の地震災害応急復旧とする
8 月 11 日に発生した駿河湾の地震で被災した東名高速道路を、わずか 115 時間で応急復旧
を果たした経過を紹介いただきたい。
現在、本復旧に向けての検討委員会委員長を太田支部長が務めている。
今後、NEXCO に対して交渉を実施。
不可となった場合には第 2 東名、リニア新幹線等を追加候補とする。
 - 2) 東京スカイツリーについて
関幹事の交渉により講演実施の内諾を頂いている東京スカイツリーについては、評議員会

の話題提供と切り離し、企画総務 G の企画行事として進めることとする。

現場見学会を兼ねられるかも含めて、関幹事に企画をすすめていただくこととする。

6 . 企画総務 G の予算消化状況 【別紙 - 11】

- 1) 60 周年支部独自行事 (交流会、技術展示会等) については黒字決算で 170 万以上支部に還元される可能性がある。
- 2) 60 周年記念事業に対し、関東建設弘済会より 150 万の補助金が支給される予定のため、支部行事予算 (400 万) のうち 300 万程度が残る見込みにある。
- 3) 以上のような収入・支出見込みより、支出予算の見直しや事業の追加等を今後計画していくことが考えられる。

例) 各研究委員会予算の増額

「群馬の地質」(現在品切れ) のオンデマンド出版準備
新規企画行事の実施

7 . その他

(1) 第 3 回運営委員会 (9/29)

(2) 次回企画総務 G 幹事会 : 第 4 回運営委員会の前 , 前々週